

2015年11月9日

レフェリーレポート

高橋 由美

【参加大会】

サニックスカップ U-17 国際ハンドボール交流大会 2015

2015年10月16～18日

【レポート】

今回サニックスカップに参加させて頂き、女子の試合を3試合吹きました。

その中での課題点は以下の通りです。

1. 判定の基準をつくる（ぶれないようにする）
ゲームの序盤でしっかりと判定の基準を作ることにより、選手や指導者のゲームコントロールができるようにする。
2. 笛の強弱短長
特にターンオーバー、7m、罰則については強弱短長をはっきりさせることにより選手、役員、オフィシャル会場の人がわかるようにする。
3. 判定ができる位置取り、役割分担、領域分担
特に、変則ディフェンスや速攻の展開の際の広いコートでのプレーに対して、ペアと役割、領域分担をはっきりさせ、判定ができる正しい位置取りに動くことで、信頼感を与えるようにする。
4. ボールがないところでの攻防
ポストとディフェンスの絡みはボールがない場面でも注意して見ておく必要がある。
5. 7MTの判定
もともとラインの中で守っていたのか押し込まれて入ったのか。ゲームの展開を予測して準備をする。
6. 違反についての罰則
イエローカードなのか即座に2分間退場とするのか、おこった現象のスピードや場所、位置などを組み合わせて判断する。
7. ベンチとのコミュニケーション
判定についてペアと共通の理解をしてお互いが説明できるようにする。
8. オフェンシングファール
ディフェンスが正しく守っているのにオフェンスのファールではなくディフェンスのファールをとってしまわないようにする。

チームによってステップに特徴があるが、基準をしっかりとすることで両チームの対応がで

きると思います。また、ポストプレーやカットインプレーはオフensemingファールなのかディフェンスのファールなのか判断できるように、現象が起こってすぐ吹くのかアドバンテージを見るのが重要になってくる。ゲームの展開を予測して正しい位置取りで判断が出来るようにしたいと思います。

上記の課題を修正し、お互いのチームカラーを活かせるようなゲーム展開が出来るようにしたいです。

以上